



平成27年1月30日  
松ヶ崎小学校学校運営協議会  
広報委員会

## まなぶ力を……………

### ～土曜学習「漢字教室」1/10(土) 10:00～11:30～

今年も、林久雄先生を迎えて「漢字教室」を行いました。

(林久雄先生プロフィール：南太秦小学校校長，京都市教育委員会首席指導主事，京都市総合教育センター一研究課長，(財)日本漢字能力検定協会研究員を歴任。松ヶ崎地域では，社会福祉協議会役員として地域活動にも貢献。)

子ども26人，大人1人の参加。前半は，林先生による授業。そして，後半は，漢字検定で出された過去の問題にチャレンジしました。



#### ★前半の授業

「冬だから寒いのでしょうか，寒いから冬なのでしょうか。」  
そして，林先生は，「『冬』『寒』の漢字が書けますか？」と尋ねられました。  
皆は，「書ける，書ける。」と，それらの漢字を書き出しました。  
「この二つの漢字に共通するところは？」  
実は，最後の2画が同じなのです。  
最後の2画は，昔は「ン」と書いていたとか。  
そして，その意味は，「凍」や「冷」なのだそうです。

こんなふうに教わると，楽しいです。それに，漢字に興味がもてます。意味を知るといことは，大切なことです。

「冬」，「寒」の成り立ちについても，「なるほど！」と子どもたち。

「冬」：その成り立ちの中には……

昔は，冬の間食料を皮の袋に入れて蓄え，家の中にその袋を吊り下げていたそうです。  
その袋を表したものが漢字の中にあるのです。

「寒」：その成り立ちの中には……

昔は，家の中も寒かったのです。家の中に外の風が入らないように，れんがを積み重ねたとか。  
両手でれんがを積み重ねた様子が，漢字の中に表されているのです。

その後，「漢字の成り立ち」のプリントをもとに学習。

「『にんべん』の漢字をいくつ書けますか？書いてみましょう。」

「『さんずい』の漢字をいくつ書けますか？書いてみましょう。」

それぞれが，いっせいに書き出しました。

ホワイトボードには，漢字でいっぱいになりました。

学年で習得する漢字より，たくさんの漢字を知っている子どももいました。

読者の皆さんもお試してください。これがなかなか難しいのです。知っていても，いざとなると，なかなか書けないものです。最近では，PCのキートンで，簡単に漢字に変換できるので，ますます，書けなくなっているのかもしれない。

#### ★後半の学習

漢字検定で出された過去の問題にチャレンジしました。

あっという間に1時間半が経ちました。子どもたちは，学習意欲，学習態度が大変優秀でした。林先生に誉めていただきました。林先生，ご授業ありがとうございました。

# お正月を楽しもう会

～1/17(土) 9:30～11:45～

新年の伝統行事を体験し、お正月を皆で楽しみ祝うことができると、今年も、恒例の「お正月を楽しもう会」を行いました。

運動場で行う予定でしたが、あいにくのお天気。渡り廊下、講堂前でおもち焼きを行いました。PTA本部役員、おやじの会、保護者ボランティアの方々にお世話になり、準備をしていただきました。大人の方についていただいて、七輪のまわりを囲みます。

ひとり二つのおもちをいただいて、網の上へ。

炭がよく熾って、おもちが真っ黒こげになったりも・・・。

焼きあがったおもちは、さとう醤油、きなこをつけてもらって・・・。

おいしくいただきました。

どんど焼きは、運動場で準備をしていましたが、雨がきつくなり、中止となりました。

こま回しや、羽根つきなどのお正月の遊びも準備をしていたのですが・・・。

書きぞめや、注連縄などは、預かり、19日(月)に燃やしました。

帰りには、お土産をもらって、子どもたちは、大喜びでした。

お世話いただきました皆様、ありがとうございました。



最近、お正月の行事も少なくなったように感じます。節目節目を大切に、その意味を学ぶことは大事な学習です。これからも伝統行事を大切にしていきたいと思えます。